

陸前高田発

全国太鼓フェスティバル

「全国太鼓フェスティバル」が陸前高田市で開かれ迫力ある演奏が繰り広げられました。戸羽太陸前高田市長の太鼓で幕を開けた全国太鼓フェスティバルは震災があったおとしは休止となりましたが去年復活、今年は11団体が参加しました。大船渡東高校太鼓部や長野県の鬼島太鼓、大阪の高槻太鼓と地元陸前高田の氷上太鼓の共演など、次々と演奏が披露され、およそ400人の観客から大きな拍手が送られていました。(10/20 ニュース)



山田発

新商品「いかるつおーねくん」



山田町の仮設商業施設、やまだ観光物産館「とっと」に店舗を構える山田湾ベーカリーが、地元のイカを使い、イタリアの庶民の味カルツォーネをベースにした「いかるつおーねくん」というお好み焼き

風の新商品を開発しました。県産小麦「ゆきちから」と盛岡の石割桜から採っためずらしい酵母を使った生地如山田産のスルメイカの足や青ねぎ、チーズなど具がたっぷり入っています。店長を務める堂田祐輔さんは「山田の方たちがイカが好きなように、山田のソウルフードになってもらいたい。」と話していました。「いかるつおーねくん」は山田湾ベーカリーと系列のうどん店で1つ200円で販売されています。(10/22 ニュースエコー)



陸前高田発

流出した実習用ボート返還



東日本大震災の津波で陸前高田市から流されたボートが太平洋を横断。アメリカ・西海岸に漂着し、このほど返還されました。このボートは全長およそ6m・幅2mで、高田高校のホタテ養殖の実習に使われていました。今年4月、カリフォルニア州クレセントシティの海岸に漂着しているのが見つかり、現地の高校生が現地の高校生が、「被災地の希望となる」「日本に送り戻そう」と申し出て、大手海運会社日本郵船の協力で返還が実現しました。ボートは防災教育や、震災を伝える資料として、今後、市の施設で展示され一般公開される予定となっています。(10/22 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの鈴木清恵さんが、豪華客船「飛鳥II」と「にっぽん丸」の宮古港への入港について伝えてくれました。「飛鳥II」は震災後初の入港で、今月25日に700人の乗客を乗せて寄港します。地元では宮古小学校のブラスバンドなどで歓迎セレモニーをする予定だそうです。また「にっぽん丸」は今月28日に寄港し、宮古第一中学校吹奏楽部による演奏などの歓迎を受けます。いずれも宮古でのオプションツアーとして、被災地をまわる「防災コース」や「秋の味覚を楽しむコース」、「観光コース」などがあり、たくさんの乗客の方が参加する予定だそうです。鈴木さんは、「宮古市民としてこうしてまた客船が寄港してくれることも豪華客船を見られることも嬉しく思っています。」と話していました。(10/23)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.abc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122